

第36回東海地区本部委員会開催



2月23日、稲沢市内において開催され、今後の運動方針が満場一致で可決されました。

梅本副委員長による開会挨拶後、委員会を代表し挨拶に立った東海地区本部奥田委員長は、「日頃より大変お世話になっている。昨年は、輪軸組立不正や貨物列車脱線があり、改めて安全最優先の取り組みを強くお願いしたい。物価上昇により組



合員の生活は疲弊している。JR貨物は明らかに賃金改善が遅れており、離職防止・優秀な人材確保のためにも、2025春闘では満額回答を目指し地区本部としても取り組んでいく。組織については、ここ東海地区本部が先頭に立って取り組んでいかなければならない。難しい取り組みであるが、こ



れまで以上の協力をお願いしたい。今年7月の参議院議員選挙では静岡県選挙区の新井議員が改選となる。静岡支部においては、必勝に向けての運動協力をお願いする」と訴えました。

来賓には、東海地協鎌田議長・本部辻村執行委員長にお越し頂き、鎌田議長からは、「世界国内情勢を踏まえながら2025春闘の取り組みについて」述べられ、辻村本部委員長からは「会社の状況・安全への取り組み・2025春闘・アポ改定を含めた政策課題・政治関係・私傷



病、総合共済の加入要請」を述べられました。

続いて執行部より、今後の運動方針案を提起し、質疑では、ダイヤ改正における問題点・安全、政策、組織課題・2025春闘の取り組み等が出され、小山副委員長が集約答弁した後、永井執行委員



が委員会宣言(案)を読み上げ、鈴木智久副委員長による閉会挨拶後、奥田委員長による団結ガンパローで、委員会を終わりました。

その後、懇親会を開催し、更なる親睦を深めました。



2025春闘勝利！！